

## 2020 年度事業 中間評価報告書（実行団体）

### 評価実施体制

内部／外部	評価担当分野	氏名（非公開）	団体・役職
内部			なんとおせっ会移住応援団会長
内部			なんとおせっ会移住応援団事務局長
内部			なんとおせっ会移住応援団事務局

### A) 事業のアウトカムの進捗状況の評価

#### ① 短期アウトカムの進捗状況

指標	目標値・状態	達成時期	これまでの活動をとおして把握している変化・改善状況
南砺市内において、空き家予防の活動の結果により、空き家予備軍（主に一人暮らし老人宅）が空き家になる前に今後の利用の方向性が決まり、より一層地域との繋がりを持って暮らしていけるようになる。	10 人	2022 年度 3 月	空き家になる前・なった直後に移住希望者に繋ぐことができたケースも多く、家族と今後の家のことについて話をする予備軍の方が増えてきている。
南砺市内において、移住・定住の活動の結果により、Uターン希望者・移住希望者の南砺市への定住が増え地域や学校の活性化に繋がる。	満足度の 20% 向上	2022 年度 3 月	地域をあげて歓迎会を行うところもあり、移住者がくることが地域の活動のモチベーションになっている。また、高齢化が進む職業と移住者を繋ぐことで、地域の企業の活性化にも繋がっている。

南砺市内において、空き家特定・持ち主特定の活動結果により、空き家の選定ができ、移住希望者に対して提供できる住居が増える。	10 軒	2022 年度 3 月	各地域の不動産会社・地域の空き家対策に携わる団体と連携を図ることで地域の空き家M A P の作成をしたり、その中から追っていくことで売買物件に繋がるケースもあり提供できる住居が増えつつある。
--------------------------------------------------------------	------	----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------



事業のアウトカムの進捗評価	評価結果の考察
<p>事業のアウトカムの進捗の程度は、事業終了時には</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値を上回っての達成の見込みがある</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成の見込みがある</li> <li><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値はおおむね達成できる見込みがある</li> <li><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は不透明である</li> <li><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は難しい</li> </ul> <p>と自己評価する</p>	<p>敷地内の別棟の家をに貸したり、居候の形で貸したりと今までこの地域では見られなかったスタイルで地域と移住希望者が繋がるケースもでてきて、家の在り方・移住に対する意識が変わってきたように思える。また、地域で大々的に動くことで家に対する相談が徐々に増えてきた事も、一人一人家に対するの意識が変わってきた証と言える。</p> <p>ただし、地域によってはまだまだ意識の温度差があるので 2021 年度中にできた成功例を 2022 年度では多くの地域に広めていきたい。</p>

## B) 事業の改善状況の評価

### ① 事業の実施過程・事業改善に関する評価

評価項目	評価小項目	評価結果	考察
実施状況の適切性	1. 活動は事業計画どおり実施されているか 2. 事業を実施するうえでの阻害要因が発生していないか 3. 設定した目標に対し、当事業の課題としていた事項の解消に向けた活動の進捗は明確か	やや未達	特定の地域とは連携を図り活動ができているが、当団体が立ち上がったばかりで活動歴が少なかったのと、コロナ禍もあり空き家対策・移住促進に意識が低い地域へのアプローチまでは至っていない。2021年度に得た成功例を基に2022年度は他地域へ広める活動を強化していきたい。
実施をとおした活動の改善、知見の共有	アウトプットに影響を与えた要因や今後留意すべき内容は明確か	ほぼ達成	活動の改善については、当団体のメンバーでの活動報告会の中で事務局が持ち出した話を基に意見をいただき行っているのと、南砺市幸せ未来基金事務局の担当者と定期で打ち合わせをしながら行っている。
組織基盤強化・環境整備	1 事業の運営管理体制に問題が生じていないか 2 組織の財務状況に問題が生じていないか	やや未達	自己資金に関して目途がたっていない状況にある。空き家のサブリース等の事業を検討している。メンバーに不動産業の方が多くいるので意見をいただきつつ早急に進めていきたい。また、上記の事業を進めて行く上で2022年度中の法人化を目指していく。

## ② 短期アウトカムの状態の変化・改善に貢献した要因や事例

地域に根差した不動産屋さんをメンバーとし各地域と連携を図れたことが要因といえる。井波地域では不動産屋さんと地域の若い方々が連携して街中の活気を取り戻そうと空き家調査をし、建物の状態を踏まえて店舗型物件・住居型物件として持ち主の調査やその後の売買に至るまでの活動を行った。やはり地域の人との繋がりを持つ不動産屋さんが地域の中心となって空き家対策・移住推進を行うことで、地域住民の意識が高まり活動を広げていける結果になったかといえる。これまでは家のこれからの事を考えていても、空き家を持ってアクションを起こさないケースが多くみられたが、地域の人から声をかければ実際に売買や賃貸に至ったケースも出てきたので、この活動が広まるように各地域との連携をもっと増やしていきたい。

## ③ 事前評価時には想定していなかった成果

住居の敷地内にある別棟を貸すケース、独居老人宅の1室を借りて居候するケースなど、単純に空き家になったから貸す・売るというだけでなく様々な形で空き家予備軍と移住希望者が繋がってきている。空き家予備軍の方々が地域に貢献したいという意識が高まり出てきた例であると考えられる。まだまだ、空いたら売って手放してしまいたいという持ち主側の思いと、買う覚悟までは至らずまずは賃貸で南砺市を体験してみたいという移住希望者側の思いが多くミスマッチしているが、上記のようなケースがあった事も含めて広めていくことで、空き家予備軍と移住希望者が共に幸せになる活動を今後も続けていきたい。



## ④ 事業計画の改善の必要性の確認

- 社会課題のニーズに事業計画の内容は合致している
- 受益者や事業対象グループのニーズに事業計画の内容は合致している
- 事業計画に記載している活動は、アウトプット⇒アウトカムへのつながりが実際に確認できている
- 残りの期間の資金配分・人員体制・スケジュールは活動を円滑に行えるよう計画されている
- 短期アウトカム指標は、事後評価時に測定し、達成度を評価することが可能な内容になっている



事業の改善状況の評価結果	評価結果の考察
<p>残りの事業期間で、事業が短期アウトカムを達成するために</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 事業計画は適切に改善されたといえる</li><li><input checked="" type="checkbox"/> 事業計画を適切に改善する見込みがある</li><li><input type="checkbox"/> 事業計画の改善について、課題が残っている</li></ul> <p>と自己評価する</p>	<p>まだ意識が低い、または、思っけていてもどのように活動すればという各地域へのアプローチについて検討している。2021年度で当団体内、他地域との連携でできた活動例・成功例をまとめ上記の地域に広められるようにスケジュールを再構築する必要があるためこのような評価とした。</p>

添付資料

- 1.中間評価実施前の事業計画
- 2.評価計画書